

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 5 月 9 日 (2019.5.9)

【公表番号】特表 2018-531723 (P2018-531723A)

【公表日】平成 30 年 11 月 1 日 (2018.11.1)

【年通号数】公開・登録公報 2018-042

【出願番号】特願 2018-521514 (P2018-521514)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/28 (2006.01)

A 6 1 B 17/17 (2006.01)

A 6 1 B 17/56 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 2/28

A 6 1 B 17/17

A 6 1 B 17/56

【手続補正書】

【提出日】平成 31 年 3 月 26 日 (2019.3.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

骨治療手段 (7) の製造方法 (1) であって、

治療される特定の患者の骨 (8) 又は骨部分の元の 3 D データが提供され、治療される部位が前記骨 (8) 又は前記骨部分の内部に存在する、第 1 のステップ (2) と、

所定の基準に従って選択された基準患者の 3 D データが関与し、前記基準患者の前記関与する 3 D データが前記治療される部位を含む前記骨 (8) 又は前記骨部分に対応し、且つ平均値をフォーマットする手段及び／又は統計的モデルの利用によって、異なる個々の患者の 3 D データから構成される、第 2 のステップ (3) と、

前記治療される部位の再構成のために前記第 1 のステップ (2) 及び前記第 2 のステップ (3) を合成した 3 D データを補完又は完成させるための第 3 の再構成ステップ (4) と、を有する、方法 (1)。

【請求項 2】

前記合成 3 D データを得るために、前記治療される特定の患者の 3 D データがその患者の鏡像対称の他方側についての元データを有しており、当該患者の 3 D データを特に前記骨 (8) 又は骨部分に対応する部位において重ね合わせるミラーリングステップ (5) が用いられることを特徴とする、請求項 1 に記載の方法 (1)。

【請求項 3】

前記 3 つ又は 4 つのステップ (2、3、4 及び／又は 5) は、連続して又は並行して行われることを特徴とする、請求項 1 又は 2 に記載の方法 (1)。

【請求項 4】

前記第 3 のステップ (4) の後にさらなるステップ (6) において、前記骨治療手段 (7) は、インプラント又は骨切りテンプレートの形で製造されることを特徴とする、請求項 1～3 のいずれか一項に記載の方法 (1)。

【請求項 5】

準備ステップ (11) において、前記患者の前記元の 3 D データ及び／又は 1 人以上の

基準患者の３Ｄデータが、データベースに入力されており、及び／又はそこから集められることを特徴とする、請求項４に記載の方法（１）。

【請求項６】

前記ミラーリングステップ（５）の前及び／又は前記第１のステップ（２）の後に、コンピュータ支援による２Ｄ又は３Ｄ視覚化が実行されることを特徴とする、請求項２～５のいずれか一項に記載の方法（１）。

【請求項７】

前記ミラーリングステップ（５）の前又は後に、規定される骨マーカ点（１２）が選択されることを特徴とする、請求項２～６のいずれか一項に記載の方法（１）。

【請求項８】

穴の種類別に前記治療される患者の骨材料欠損は、閉鎖されるか、架橋されるか、又は充填されることを特徴とする、請求項１～７のいずれか一項に記載の方法（１）。

【請求項９】

前記さらなるステップ（６）の前に、３Ｄデータ及び／又は製造機械を制御するための製造データが、生成ステップで生成されることを特徴とする、請求項４～８のいずれか一項に記載の方法（１）。

【請求項１０】

少なくとも前記３つのステップ（２、３、４）の結果は、手術を計画するのに使用されることを特徴とする、請求項１～９のいずれか一項に記載の方法（１）。

【請求項１１】

請求項１～１０のいずれか一項に記載の方法（１）を実施するための手段が含まれ、準備される、計画及び／又は製造方法を実施するための装置。